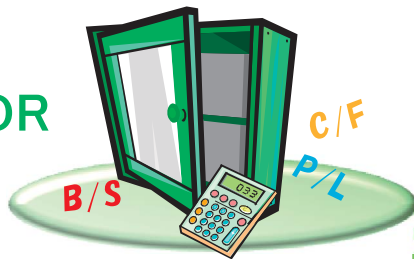


# 決算のDOOR

～数字が語る  
東京大学



## 第4回 年々歳々数相似たり？

まずは、なぞなぞから。  
安いものでは1品100円からあり、購入した時は費用に認識されるけれど、年度末に財産に変わるものって、なーに？  
ヒントー 倉庫にあります。

正解は棚卸資産。一般には企業が販売目的で所有する商品のことで、在庫とも呼ばれています。

東京大学では、コミュニケーションセンターのグッズや附属病院の医薬品、給食の材料などが該当します。購入時は「消耗品費」「内服薬費」などの費用勘定に計上し、年度末の数量確認時(棚卸し)に未使用在庫を「商品」「医薬品」といった財産に振替えます。特に医薬品と医療材料はそのうちほとんどを占め、金額にして約10億円。うち9割が医学部附属病院、1割が医学部附属病院です。



医学部附属病院では2300品目の薬品が常備され、毎日使用されています

ところで、この10億円、「建物」「機械装置」といった通常の財産が金額、件数とも年々増えていくのに対し、ほぼ毎年増減なし。これは医薬品や医療材料が常に一定数保つことが求められる財産であることを意味しています。

現在、医学部附属病院での医薬品の納品額は1日平均3千万から4千万円。毎日の診療以外にも災害時に備え、常に1週間分くらいの在庫を保つため必要な金額です。しかし、薬は使用期限のあるナマモノ。買すぎは廃棄につながります。一方で、高度先進医療を行う東大病院は高額な医薬品も常備し、毎年新薬が出る抗がん剤などにも対応しなければなりません。ここは、日々の診療に影響が出ないぎりぎりまで在庫数と採用品目数を見直し、廃棄率抑制のため使用量のチェックを欠かさない薬剤師さんを始めとする病院スタッフの腕の見せ所です。

また同じく注射器やカテーテルなどの医療材料も計画的な購入、管理を目的とした院内物流システム (SPDシステム) を取り入れ効率化が図られています。これは不良在庫を防ぐだけでなく、緊急事態に365日24時間対応できるような院内の各部署に常に一定数の医療材料や医薬品が配置される仕組みになっています。



SPD倉庫内の消耗品は、まさに「ゆりかごから墓場まで」分娩セット(左)と死後処置セット

なるほど、棚卸資産10億円には患者さんの命と病院財政を支える病院スタッフの弛まぬ努力、そして現場の医師、看護師のみなさんの協力が隠されているのですね。(青)

このコラムへのご意見、ご質問をどしどしお寄せ下さい。お待ちしております！

本部財務部決算課  
E-mail: kessan-g@ml.adm.u-tokyo.ac.jp

# ★ASIAN DIVERSITY★

No. 4

## コーヒー豆の不平等 ーベトナムコーヒーの美味しい飲み方ー

東京大学日本・アジアに関する教育研究ネットワーク(ASNET)では東洋文化研究所と共催で、毎週木曜日にセミナーを開催しております。今回は池本幸生氏(東洋文化研究所、教授)による、「コーヒー豆の不平等ーベトナム・コーヒーの美味しい飲み方ー」(第4回東文研・ASNET共催セミナー、2010年6月10日開催)をご紹介します。

朝、ベッドから出るのが辛い季節になりましたが、温かくて芳しいコーヒーを頂くと「今日も頑張るぞ!」という気持ちになりますね。私もコーヒーが好きで、コーヒー豆を買いに行きますが、大抵、南米産のものを購入します。皆様はベトナムが世界第2位のコーヒー輸出国であることをご存知でしょうか?

コーヒー豆の品種として主なものは、アラビカ種とロブスタ種です。アラビカは酸味と香りが特徴であり、世界のコーヒー生産量の約3分の2を占めます。他方、ロブスタは苦味とコクを特徴とし、缶コーヒーなど加工用に用いられています。そのため産地が表示されることもなく、「ロブスタの生産国」としてのベトナムはそれほど知られていないのです。

ロブスタを加工せずに、ブラックで頂くこともできます。植民地時代のフランス人達はベトナム産の高品質ロブスタを愉しみ、その飲み方は今でもベトナムに残っています。しかしベトナムで飲まれるコーヒーは、大抵、焙煎時にバターや砂糖を混ぜたり、コンデンスミルクを入れて飲むそうです。コンデンスミルクをたっぷり入れるとホットチョコレートのような味がします。

ここに先進国と生産国との間の、経済力の差による不平等が見えてくるのだそうです。国際社会の求めに応じて「質より量」を重視し、高品質のものを先進国に輸出した後に残った低品質のコーヒーを精一杯おいしく飲むとする工夫が、ベトナムコーヒーの飲み方には反映されているからです。明日の朝、コーヒーを飲まれる際には是非、コーヒー豆の生産国にも思いを馳せてみて下さい。

セミナーの詳細は下記のURLをご参照下さい。  
<http://www.asnet.u-tokyo.ac.jp/node/6906>  
ASNETホームページ  
<http://www.asnet.u-tokyo.ac.jp/>



日本・アジアに関する教育研究ネットワーク (ASNET) 安田佳代

# ★ASIAN DIVERSITY★

★ASIAN DIVERSITY★

★ASIAN DIVERSITY★